



令和5年度 苫小牧市立泉野小学校 グランドデザイン

【北海道教育推進計画基本理念】

【自立】自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む。
【共生】ふるさとへの誇りと愛着をもち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む。

【苫小牧市教育大綱】

『未来の社会をつくるひとづくり』

◆社会で生きる学びの推進 ◆学校・家庭・地域の思いをつむぐ体制の確立
◆全ての人学び続け、活躍できる社会の実現

学校教育目標

- (知) よく考え、学ぶ子
- (情) 明るく、思いやりのある子
- (意) 正しいことを進んでする子
- (体) 健康で、がまん強い子ども

【目指す子ども像】

自らすすんで学ぶことのできる子 自他のよさを認め合い、高め合える子
 明るく元気に気持ちのよいあいさつができる子
 落ち着いた学びの環境づくりに心がける子 最後まであきらめずにやりきる子

目指す学校像

- 子どもにとって、子ども自身が学びたいと思う楽しい学校
- 保護者にとって、保護者が学ばせたいと信頼できる学校
- 地域にとって、おらがまちの誇りとして、支援したくなる学校
- 職員にとって、豊かな発想を生かし、働きがいのある学校

- 単元・1単位時間の授業のゴールの明確化
- 話し合い活動の基礎・基本となる力の定着
- GS構想「STEP2・3」内容の活用推進
- 学びのプランに基づく学習の充実
- ふるさと教育と連動した環境教育の充実化
- 指導と評価の一体化を促す調査活用と改善
- 高学年を中心とした学年内交換授業の推奨

- 泉野 Style の徹底 ○教室環境の整備
- 家庭学習取組強調週間の設定
- e-ライブラリの意図的・計画的活用
- 読書啓発活動推進と「子ども新聞」活用

- 校内支援委員会を核とした支援体制整備
- 個別の支援計画・指導計画の整備・活用
- 障がい種別の適切な教育課程・支援G編成
- 特別な配慮を要する児童への支援の充実

- 中学校区教育力向上Pによる取組推進
- 中学校教員による出前授業の継続・拡大
- 中学校の学びの見える化
- 小1プロブレム解消及び、支援教育の充実に向けた幼・保との連携強化

- CS を核とした地域情報と児童情報の共有、地域連携強化と創意工夫ある取組推進
- CS の機能を生かした関係者評価の充実
- 地域人材・素材の掘り起こしと活用
- 40周年記念事業プロジェクトの推進



児童に育みたい資質・能力

- ① 学習や生活の基礎となり、活用できる知識・技能 (知識・技能)
- ② 自分の考えをもち、相手にわかるように伝える力 (思考力・判断力・表現力)
- ③ 他者の考えをくみ取り、生かし、自分の考えを広げる力 (思考力・判断力・表現力)
- ④ ICT を効果的・協働的に活用し、課題解決に導き、新たな考えを生み出す力 (思考力・判断力・表現力)
- ⑤ 学びの見通しをもち、課題に粘り強く取り組む力 (学びに向かう力・人間性)
- ⑥ 仲間と協力し、共に学び合える力 (学びに向かう力・人間性)



- 道徳授業の質的向上と実践、公開研究会開催
- 道徳教育の充実～別業の機能化
- “心の授業”の全学年実施 (外部講師招聘)
- 泉野スタンダードのあいさつの浸透、深化
- 善い行動への的確な判断力・規範意識の高揚
- 望ましいメディアマナーと利用習慣形成

- 自主性、創意工夫に満ちた取組を生む児童会運営
- 達成感・成就感を味わい、感動を生む学校行事の取組実践
- “その道のプロ”に学ぶ場の設定

- 年間を通じた体力向上策の推進
- 生活リズムチェックの実施による生活習慣改善と定着
- 横断的計画立案による防災教育の推進～交通安全指導の強化

- 学校評価アンケートの複数回実施～判断材料提示による客観性の保持
- 目安箱 (保護者の声 BOX) の常設
- 教育懇談の7月設定による児童理解の深化

- 学校要覧の継続作成 (方針等の周知)
- 情報発信機能の充実 (HP、メール、通信)
- 親子で学ぶ機会の充実 (メディア利用等)

- 学習意欲の向上と確かな学力の定着
 - ・「学びの泉野ブランド」確立
 - ・学校“まるごと学びの空間”化
 - ・個の実態や特性に応じた指導、支援の充実

児童

(心を核に)

- 豊かな心と健やかな身体の育成
 - ・「特別の教科 道徳」の授業の質的向上
 - ・創意工夫ある児童会活動、体験活動の充実
 - ・年間を通じた体力向上策の推進

地域

- 教育活動の質を高め、充実化を図る連携強化
 - ・学びの連続性を踏まえた教育の推進
 - ・家庭、地域との協働による教育活動の推進

教職員

経営の基本方針

(意識高く)

- 共通理解と同一歩調を基盤とした教職員集団の形成
 - ・学校教育目標の具現化に向けた経営方針の浸透
 - ・魅力あふれる、教育のプロたる教師集団づくり

- 教職員のキャリアアップと業務効率化
- 業務平準化の推進
- 主体的かつ機動的な組織体制の強化
- 特別委員会の機能化

- 「報・連・相」の徹底
- 教職員の同僚性の向上
- 児童の範となる行動実践

- 校内・外研修の充実、「トリビアの泉」の充実
- コンプライアンス保持徹底 (研修機会の設定)
- 働き方改革の推進～コアチームの機能化
- ・改革、改善の視点による継続的な見直し

保護者

(共に)

- 信頼される学校づくり
 - ・「F 泉野の基盤となるネットワークづくり
 - ・参画意識を高める評価システムの確立

児童と社会の豊かな未来につながる心の学校を

一枚岩でファミリー泉野で創ろう